

## 第2回学校評価アンケート結果報告

保護者の皆様、アンケートへのご協力ありがとうございました。

児童・保護者・教職員アンケートの集計結果から見えてきた、子ども達の成長と今後の課題についてご報告いたします。



### 1 児童の成長：豊かな心と確かな学び

まず、児童アンケートでは、「学校の勉強がよく分かる」との回答が全学年で約85%~90%に達しており、ICT活用などへの転換が成果を上げています。特に1年生「はい」が(88%)や4年生(94%)の意欲が目立ちます。また、特筆すべきは「友達への親切」が全学年で極めて高い水準にある点です。「ふわふわ・ぼかぼか言葉の推進」や「相手を思いやる心」が、日々の生活の中でしっかりと根付きつつあることは本校の大きな誇りです。

### 2 改善すべき点：生活リズムと主体性の芽生え

一方で、5年生においては、学習に関して「よくわかる」と答えた割合が約52%と、他学年に比べやや慎重な自己評価となりました。学習が難しくなる学年ですが、「わかる楽しさ。」をもっと味わえる授業に取り組んでいきたいと考えています。また、高学年になるほど「早寝・早起き」の割合が低下し、**6年生では37%**に留まっています。また、「将来について家の人と話す」という項目でも、6年生の約4分の1が否定的でした。健康な体と未来の夢や目標を自分事ととらえる機会を増やしていきたいと考えています。

### 3 保護者からの評価と共有すべき課題



保護者の皆様からは、学校の情報発信(約92%肯定)や相談のしやすさ(約89%肯定)について、高い信頼を寄せていただきました。自転車のヘルメット着用も9割を超え、命を守る意識が家庭でも徹底されていることがわかり、学校としてもとてもありがたい状況です。一方で、共通の課題は「**家庭学習の習慣化**」です。1日30分以上の学習・読書について、5割以上の家庭

で「あまり／全くあてはまらない」との回答結果が出ました。学童で宿題をすます場合もあるようですが、宿題の枠を超え、自分で考えて行う「自学」の力を育むためには、学校と家庭で連携して「自分らしい学びに取り組む環境づくり。」がさらに重要となると思います。

## ※総括：ウェルビーイングの実現に向けて

今回の結果を受け、3学期は「生活リズムの改善」と「将来の夢を語り合う機会」の充実に注力します。さっそく、保健委員会による朝集会では睡眠の大切さや意義について子供たちの言葉で啓発してもらいました。また、子供たちがやる気をもてるような授業展開の工夫をしたり、図書を活用によって読書意欲を高めたりできるよう、教職員自身も必要な研修に取り組んで学んでいます。子供たちが自信をもって次のステップへ進めるよう、学校・家庭・地域が手を取り合い、一人一人の「幸せ(ウェルビーイング)」を高めていきたいと考えています。



### 【活躍する生品の子】子供たちの学校外での活躍です。

学校外での活躍をお知らせするコーナーです。掲載を希望する場合は、賞状のコピー等を担任まで提出してください。



(学校HPにも掲載されます。)

・ 太田市少年剣道大会	男子4年の部	第三位	4年3組	中村 拓未
	男子5年の部	優勝	5年1組	森田 眞斗
	男子5年の部	第三位	5年3組	定村 空
・ 第10回県剣道連盟ジュニア強化大会	男子5年	第二位	5年1組	森田 眞斗
				※9月大阪開催全国大会に群馬県代表として出場予定
・ 宝泉地区スポーツ大会	ジュニア駅伝	高学年の部優勝	6年1組	中村翔太郎
	〃	低学年の部優勝	3年2組	中村 晴翔
・ 宝泉リーグ	学童野球盟主催大会	最優秀選手賞	5年3組	金澤 蒼依
・ 東毛地区そろばんフェスティバル	個人総合競技	金賞	2年3組	松永 陽菜
・ 実用英語技能検定	5級合格		6年1組	高橋 香乃

## ☆電話対応についてのお願い☆ (↓翻訳あり、with translation)

本年度、教職員が心身ともに充実した状態で子供たちの前に立てよう朝8時前の欠席連絡はフォームをご利用いただき、お電話はご遠慮いただくようお願いしてまいりましたが、3月からは放課後の電話連絡・対応等についても午後6時までとさせていただきますと考えております。

ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

(教職員の勤務時間は、8:20~16:50です。)

## ～ちょっとブレイクタイム～「心の名言」クイズ ※答えは下段に。

### 【第1問】 夢を叶えるヒント(ウォルト・ディズニー)

「夢をかなえる秘訣は、4つの『C』に集約される。それは、好奇心(Curiosity)、自信(Confidence)、勇気(Courage)、そしてあと一つは……『何』？」

### 【第2問】 失敗の捉え方(トーマス・エジソン)

「私は失敗したことがない。ただ、1万通りの『何』を発見しただけだ。」

### 【第3問】 幸せの場所(『星の王子さま』の作者、サン＝テグジュペリ)

「心で見なくちゃ、ものごとはよく見えない。一番大切なことは、『何』には見えないんだよ。」

### 【第4問】 愛の形(マザー・テレサ)

「愛の反対は憎しみではありません。愛の反対は『何』です。」

### 【最終5問】 「親の定義」

「親という字は、『木』の上に『立』って……『何』と書く？」

答え①：「継続 (Constancy)」 子供が夢中になっているときの「継続」を応援してくださいね。

答え②：「うまくいかない方法」 失敗を「ダメなこと」ではなく「発見」と呼べる心の余裕を。

答え③：「目」 成績や結果よりも、その子の内側にある「大切なもの」を見つめてみませんか。

答え④：「無関心」 「反抗期」は、親に関心がある証拠。ぶつかり合えるのは愛があるからです。

答え⑤：「見る」 「親」という字は、「木の上に立って見る」と書きます。子供が小さいうちは、手をつないで歩きます。少し大きくなったら、横に並んで歩きます。そしていつか一人で歩き出すとき。親の仕事は、「少し離れた高い場所(木の上)から、ただじっと見守る」ことへと変わっていきます。わかっているけど、お父さん/お母さんは、つい『木の上』から降りて手助けしたくなっちゃうんですけどね……

令和7年度 学校評価アンケート結果から：  
子どもたちの「ウェルビーイング」を  
共に育むために

アンケート結果から見える  
「生品小の子どもたち」



約  
95%以上  
が友達に親切

### 良好な人間関係と 挨拶の習慣

多くの児童が「友達に親切にする」「進んで挨拶する」に肯定的な回答。



約  
90%以上  
が学校の勉強はよく分かる

### 学習意欲と 理解度の高さ

「学校の勉強がよく分かる」と答える児童が多く、前向きな姿勢。



約  
70~80%  
が家庭での  
自主学習・読書

### 家庭での学習・ 生活習慣の定着が鍵

自主学習や早寝早起きなど、家庭と連携した「生活リズム」の維持が課題。

これからの教育の柱：  
自分を表現し、主体的に動く



私は～と感じた

### 「感情リテラシー」で トラブルを回避

自分の気持ちを言葉にする力を育て、メッセージで伝える指導を推進。



### エージェンシー (主体性)の育成

子どもを「守られる対象」から「社会を創る主体」として捉え、自ら考え行動する力を信頼し任せる。



### ウェルビーイングの 向上

「対話・交流・信頼関係」を基盤に、子ども一人一人が幸せを感じられる学校環境を整える。

電話対応時間について (翻訳 Telephone response hours)

(英語)

This year, we have asked that you use the form to notify us of absences before 8am and refrain from calling us by phone so that our teaching staff can be in a good physical and mental state when they are in front of the children. However, from March, we would like to extend this to limit after-school phone calls and responses until 6pm.

We apologize for any inconvenience this may cause, and appreciate your understanding and cooperation.

(Teaching staff working hours are 8:20am - 4:50pm.)

(ポルトガル語)

Este ano, pedimos que utilize o formulário para nos notificar sobre ausências antes das 8h e que evite ligar-nos por telefone, para que os nossos professores possam estar em boas condições físicas e mentais quando estiverem com as crianças. No entanto, a partir de março, gostaríamos de estender este prazo para limitar as chamadas e respostas telefônicas após as aulas até às 18h.

Pedimos desculpa por qualquer inconveniente que isto possa causar e agradecemos a sua compreensão e cooperação.

(O horário de trabalho dos professores é das 8h20 às 16h50.)

(タガログ語)

Ngayong taon, hiniling namin na gamitin ninyo ang form upang ipaalam sa amin ang mga pagliban bago mag-alas-8 ng umaga at iwasan ang pagtawag sa amin sa telepono upang ang aming mga guro ay nasa maayos na pisikal at mental na kalagayan kapag sila ay nasa harap ng mga bata. Gayunpaman, mula Marso, nais naming palawigin ito upang limitahan ang mga tawag at pagtugon sa telepono pagkatapos ng klase hanggang alas-6 ng gabi.

Humiingi kami ng paumanhin sa anumang abala na maaaring idulot nito, at pinahahalagahan namin ang inyong pag-unawa at kooperasyon.

(Ang oras ng pagtatrabaho ng mga guro ay 8:20 ng umaga - 4:50 ng hapon.)



【欠席フォーム】

Absence Form: Please fill in the date, your child's grade and class, name, sender, and message.

~A little break~ "Inspirational quotes" quiz \*Answers at the bottom.

Question 1: Tips for Making Your Dreams Come True (Walt Disney)

"The secret to making your dreams come true can be summed up in four 'Cs': curiosity, confidence, courage, and...what?"

Question 2: How to Perceive Failure (Thomas Edison)

"I have never failed. I have simply discovered 10,000 different 'whats'."

Question 3: The Place of Happiness (Antoine de Saint-Exupéry, author of "The Little Prince")

"You cannot see clearly unless you look with your heart. The most important thing is not visible in 'what'."

Question 4: The Shape of Love (Mother Teresa)

"The opposite of love is not hate. The opposite of love is 'what'."

Final Question 5: "The Definition of Parents"

"The character for 'parent' is 'standing' on a 'tree'...what is it written as?"

Answer 1: "Constancy" Please encourage your child to "continue" when they are absorbed in something.

Answer 2: "Methods that don't work" Have the mental space to call failure a "discovery" rather than a "no good".

Answer 3: "Eyes" Rather than grades or results, why not look at what is "important" inside your child?

Answer 4: "Indifference" A "rebellious phase" is proof that your child is interested in you. The ability to clash with others is due to love.

Answer 5: "Look" The kanji for "parent" is written as "standing and looking from a tree." When children are small, they walk holding hands. When they get a little older, they walk side by side. Then, one day, when their child starts walking on their own, the parent's job changes to "simply watching from a high place a little distance away (up in a tree)." Even though we know this, as parents, we can't help but want to get down from "the tree" and help...